

未来に羽ばたく夢と希望のある  
健康な郷土 まち A Healthy Community Full of Dreams and Hope,  
Taking Flight into the Future

## 第6次 山ノ内町総合計画

後期基本計画 概要版 The 6th Yamanouchi Town Comprehensive Plan  
Second Half Basic Plan - Outline

# 2026 ▶ 2030

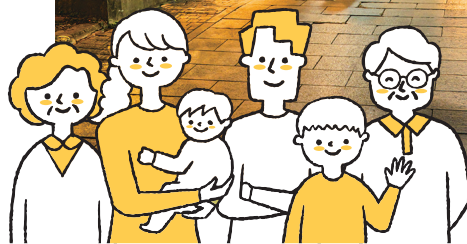


# PLAN 01 計画策定の趣旨

Purpose of the Plan

令和3年(2021)年度から令和12(2030)年度を計画期間とする「第6次山ノ内町総合計画(計画期間10年間)」は、「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土」を将来像に掲げてきました。前期基本計画における5年間は、新型コロナウイルス感染症の影響から脱却して日常を取り戻してきましたが、ライフスタイルや価値観の多様化、経済活動のあり方に変化をもたらし、本町を取り巻く社会情勢も大きく変化してきました。

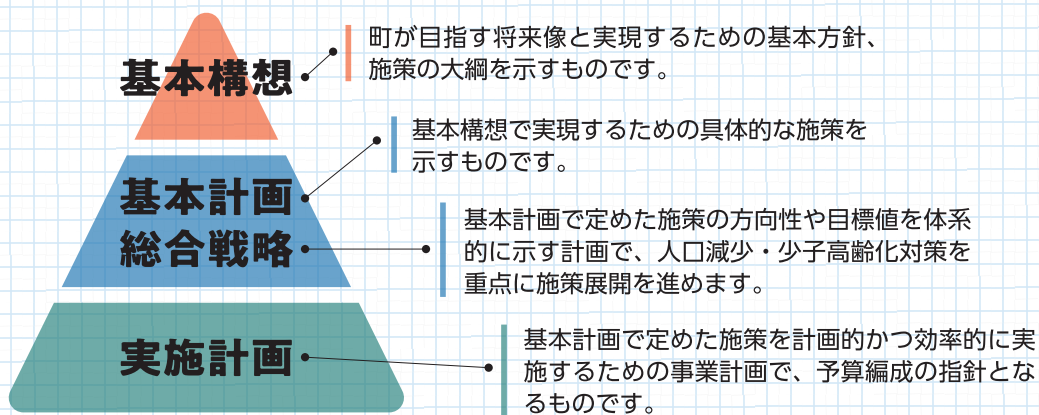
後期基本計画の5年間は、引き続き「人口減少・少子高齢化」に対応したまちづくりに取り組むとともに、「脱炭素社会の実現を目指す郷土」、「若者や外国人から選ばれる郷土」、「稼げる郷土」、「DXを推進する郷土」の新たな視点を加えて、本町の取り巻く課題に対応し、持続可能なまちづくりに取り組むものです。



# PLAN 02 計画の構成

Structure of the Plan

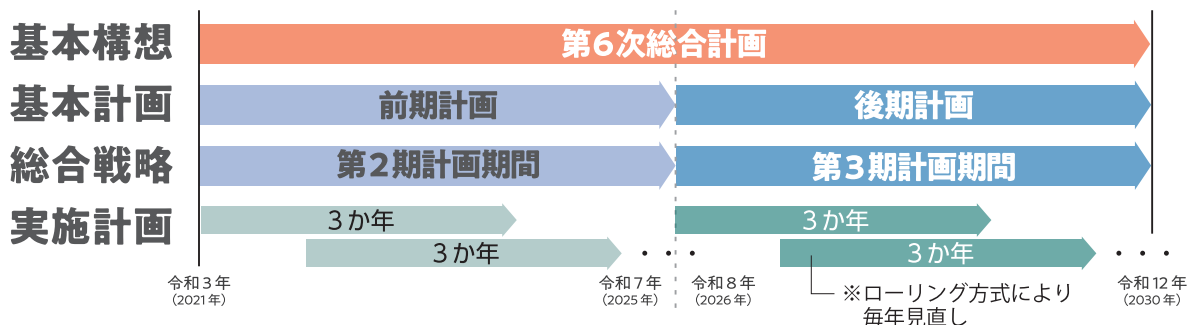
● 第6次山ノ内町総合計画は、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」をもって構成します。



# PLAN 03 計画の期間

Plan Period

第6次山ノ内町後期総合計画は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間の計画です。



# 04 まちづくりの課題

## 1 人口減少・少子高齢化の進行

- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり。
- 町外流出を抑え、安心して住み続けられる魅力を向上。
- 地域を支える「働き手」不足の解消。

## 2 環境問題と脱炭素社会の実現

- 激甚化する自然災害に備え、避難体制やインフラを強化。
- 2025年カーボンニュートラルに向け、脱炭素社会を推進。
- 豊かな自然環境と温泉資源を次世代へ守り継ぐ。

## 3 若者に「選ばれる」まちづくり

- 国内外から「住みたい」「訪れたい」と選ばれるまちづくり。
- 外国人材を受け入れ、多様性を尊重し合える地域づくり。

## 4 グローバル経済と稼げる力を育むまちづくり

- 観光資源を活かした、国際水準の受入環境づくり。
- 体験型コンテンツやブランド化を推進し、地域全体の「稼ぐ力」を強化。

## 5 デジタル社会の実現とDXの推進

- デジタル技術を活用した、人手不足解消、効率化の推進。
- 行政手続きや高齢者へのデジタル支援で、誰もが恩恵を受ける社会づくり。

## 6 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

- 「誰一人取り残さない」理念のもと、経済・社会・環境の課題解決。
- 17の目標を指針に、住民と共に持続可能な地域社会づくり。

GOAL  
**01** まちの  
**将来像** Future Vision of Our Community



# 未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土

A Healthy Community Full of  
 Dreams and Hope, Taking Flight  
 into the Future

本町は、恵まれた豊かな大自然と、その恩恵を受けて「観光と農業」そして「生命の暮らし」の持続的な調和を理念に掲げ、発展してきました。自然豊かな郷土は、先人たちが守り、育て、伝えてきたかけがえのない財産であり、次世代に引き継いでいくことで、郷土に自信と誇りを持ち、一人ひとりが夢と希望をもって未来に羽ばたく礎となります。

私たちの郷土の観光や農業の振興、生命と暮らしを守り、にぎわいの創出に向けて、新しい発想で取り組む原動力が大切です。

未来に羽ばたくこどもたちへ“夢と希望のある郷土”を育むため、町民や企業、行政が互いに絆を大切に、地域の自主性と自立性、独自性を発揮しながら、新しい郷土愛・魅力あふれる“健康な郷土”の更なる創造を目指します。

Yamanouchi town

山ノ内町

**目標**  
 GOALS

まちの将来像・目標人口・基本目標

GOAL  
**03** まちづくりの  
**基本目標** Basic Goals of Our Community

町の将来像「未来に羽ばたく 夢と希望のある 健康な郷土」の実現に向けて取り組む、まちづくりの基本目標（まちづくりの5本の柱）を次のとおり定めます。また、横断的な取り組みとして、新たな要素を追加しました。

- 基本目標  
**1** **ひと**がつなぐ、魅力あふれる **産業と交流**の郷土
- 基本目標  
**2** **いきいき**と暮らす、**元気**が満ちる **健康**な郷土
- 基本目標  
**3** **未来**に羽ばたく、豊かな **文化と学び**の郷土
- 基本目標  
**4** **自然**と生きる、暮らしの **希望**を叶える **安全**な郷土
- 基本目標  
**5** **みんな**が **活躍**する、**絆**の力で **地域**が生きる郷土

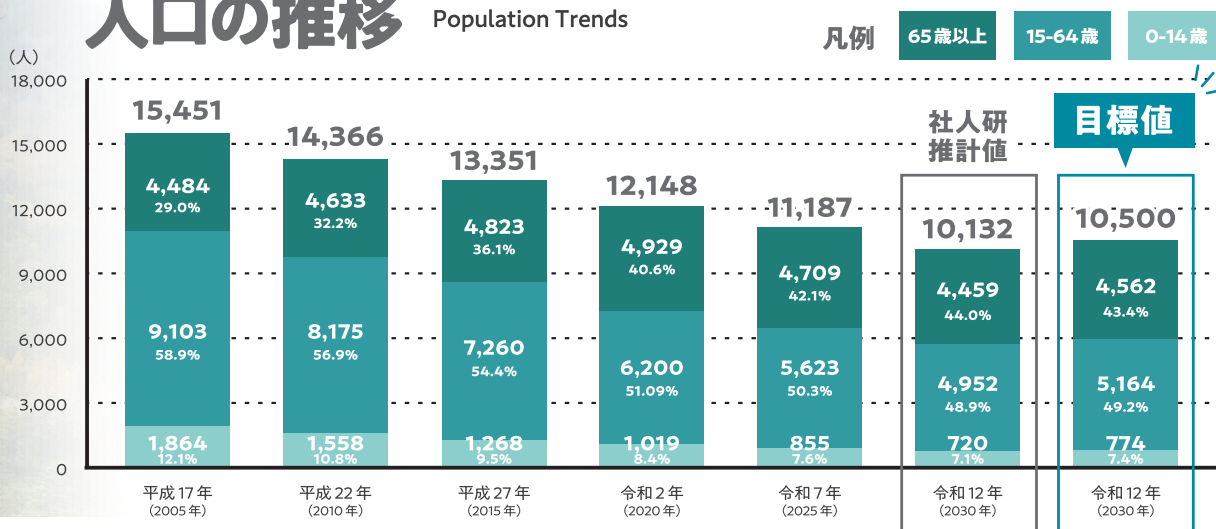
GOAL  
**02** まちの **目標人口** Target Population of Our Community



# 2030年の目標人口 10,500人

令和7年（2025）年4月現在のデータに基づき、改めて将来人口について長期的な推計・検討を行いました。その結果、令和12年（2030）年の目指すべき推計値を10,413人と算定し、目標年（令和12年（2030）年）の人口を、第6次町総合計画前期基本計画で設定した数値10,500人とします。

## 人口の推移 Population Trends



### 横断的取り組み

- DXの推進
- 稼げる
- 若者・外国人から選ばれる
- 脱炭素社会の実現
- 人口減少・少子高齢化の緩和

産業・交流・移住定住

保健・医療・福祉

教育・文化・スポーツ

都市基盤・自然環境・  
生活環境・防災

協働・行財政・人権

未来に  
 羽ばたく  
 夢と希望  
 のある  
 健康な  
 郷土  
 まち

産業・交流・移住定住

# ひとつがつなぐ、魅力あふれる産業と交流の郷土

## 数値目標

Numerical Targets

指標名	基準値 (R6年)	目標値 (R12年)	備考
観光入込数	415万人	450万人	町調査
新規就農者数	59人	60人	5年間累計

## 郷土づくりの方向性

Direction for Community Development

- 豊かな自然環境と、先人たちが築いてきた観光・農業の営みを活かし、地域の真の価値を高めるブランド力の強化を図ります。
- 多様な地域資源を有機的に結び付け、未来につながる産業の活性化を目指します。
- 働き方の多様化に対応し、地域資源を活かした働く場の創出を進めることで、移住・定住の促進を図ります。
- 友好・協定都市との連携を深化させ、交流人口・関係人口の拡大を推進します。

## 基本施策

Basic Policies

### 1. ひとつがつなぐ観光の郷土づくり

- 多様化する旅行ニーズに対応し、地域資源を暮らす人や歴史と結びつけることで、地域ブランド力の強化を図ります。
- ICT※の活用により、旅行者へタイムリーに情報を届ける環境を整備します。
- ユネスコエコパーク※として守り活かす自然や歴史、食の魅力を磨き上げ、訪れる人が安心して楽しみ、観光に携わる人が誇りと働きがいを持てる観光地づくりを進める。

### 2. ひとつがつながる産業の郷土づくり

- 清流に育まれた農産物や生産者の強みを活かし、伝統やストーリー性のある地域ブランド力を強化します。
- 東京圏など大消費地への発信を強化するとともに、旅行者ニーズに対応した「稼げる産業」の創出に向け、生産基盤の整備と経営体制の充実を図ります。
- 温泉街の景観や伝統文化を守りながら、空き店舗の活用や企業誘致を進め、観光商業空間の再生と新たな就業機会の創出に取り組みます。
- 気候変動や多様な働き方に対応し、金融支援や異業種連携を通じて、持続可能な産業振興を推進します。

### 3. ひとつがつなげる交流の郷土づくり

- 高速交通網やICTの発達を活かし、地域資源を基盤とした交流を促進し、地域経済や人材育成、文化の発展につなげます。
- 国内外の友好都市と観光・農業・スポーツ・教育・文化など幅広い分野で連携し、相互に有益な交流人口の拡大を図ります。
- SNS※や都市圏でのPR強化と受入体制の整備により移住・定住を促進するとともに、町外人材の継続的な関与を通じて地域課題の解決と魅力向上を進めます。

※ICT… (Information and Communication Technology) 情報通信技術のこと。

※ユネスコエコパーク…ユネスコ (国連教育科学文化機関) が行う「人間と生物圏 (MAB: Man and the Biosphere) 計画」の一事業で、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和 (自然と人間社会の共生)」を目的としている。

※SNS… (Social Networking Service) 人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の Web サイトのこと。

## 数値目標

Numerical Targets

指標名	基準値 (H30～R4)	目標値 (R5～R9)	備考
合計特殊出生率	1.39人	1.42人	人口動態保健所 ・市町村別統計 (厚生労働省)

## 郷土づくりの方向性

Direction for Community Development

- 心身の健康を元気の源とし、こどもから高齢者まで互いに支え助け合える地域共生社会を目指します。
- 町民誰もが住み慣れた地域の中で、夢と希望をもって暮らせるよう、保健・医療・福祉の充実を図ります。

## 基本施策

Basic Policies

## 1. 希望の出会いと安心して子育てできる郷土づくり

- 結婚を望む男女の希望を叶えるため、相談体制の整備やイベントの実施など、出会いの場の創出と支援体制の充実を図ります。
- 安心して妊娠、出産、子育てができるよう、切れ目のない支援と地域社会で支える環境づくりに取り組みます。
- 家庭・地域・保育園・小中学校が連携し、こどもの健やかな成長とそれを支える家庭への支援を充実させます。
- 豊かな自然環境と充実した子育て支援を本町の魅力として、移住希望者へ積極的にPRします。

## 2. いきいきと元気に安心して暮らせる健康長寿の郷土づくり

- 健康意識の啓発や健診受診率の向上を図るとともに、生活習慣病や認知症・フレイル予防などの保健活動を推進し、町民の健康長寿を支援します。
- 地域医療体制の確保と広域医療機関との連携強化により救急医療体制を維持し、誰もが安心して必要な医療を受けられる環境を目指します。

## 3. 地域の絆で支えあう福祉の郷土づくり

- 地域包括ケアシステム※を推進し、町民・関係団体・行政が連携して互いに支え合う、地域共生社会の実現を目指します。
- 高齢者が役割と生きがいを持って暮らせるよう、介護予防の推進、多様なニーズに応じた介護サービスの整備、就労機会の拡大など高齢者福祉の充実を図ります。
- 障がい者が地域の一員として自立し、その人らしく安心して暮らせるよう、社会参加への途切れのない支援と障がい者福祉の充実を図ります。

※地域包括ケアシステム…高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい生活を人生の最後まで続けることができるように、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」の5つのサービスを一体的に提供する支援体制のこと。



## 数値目標

Numerical Targets

指標名	基準値 (R6年)	目標値 (R12年)
生涯学習への参加者延人数	2,807人	2,900人

## 郷土づくりの方向性

Direction for Community Development

- SDGs※の基本理念に基づき、次世代を担うこどもたちの一人ひとりに応じた学びと成長を促し、誰もが平等に質の高い教育を受けられる環境づくりを目指します。
- 生涯を通じていくつになっても自由に学び、生きがいのある生活を送ることができる生涯学習環境の向上に努めます。
- 多様化する社会においても、先人たちが培ってきた地域の文化を尊重し、大切に保全しながら次世代へ継承するための環境づくりを進めます。



## 基本施策

Basic Policies

### 1. 健やかで未来につながる人を育む

- 多様な社会変化に対応できる「生きる力」を育むため、思考力・判断力・表現力などの伸長や自ら学ぶ意欲の育成を重視し、国際感覚をもった人づくりを目指します。
- 本町の豊かな自然環境や歴史・文化に根差した ESD※の推進により、未来につながる郷土づくりの担い手を育みます。

### 2. 豊かな心を育み、共に学び、楽しむ

- 町民一人ひとりが豊かな心を育み、様々な学びを楽しみ、その成果を暮らしに生かせる生涯学習の環境づくりを進めます。
- 誰もがスポーツ活動に参加できる環境の整備や交流機会の提供を行うとともに、競技大会や生涯スポーツ活動の支援を図ります。

### 3. 未来につながる文化に親しむ

- 豊かな自然・歴史・文化の中で郷土への誇りと愛着を育み、伝統と芸術文化の価値を学び親しむ機会を提供することで、町民意識の向上を図ります。
- 先人たちから受け継いだかけがえのない文化遺産を、次世代へ継承するための環境づくりを進めます。

※SDGs…(持続可能な開発目標)2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」社会の実現を目指すもの。

※ESD…(Education for Sustainable Development)持続可能な開発のための教育と訳される。持続可能な開発を実現するために発想し行動できる人材を育成する教育のこと。



## 数値目標

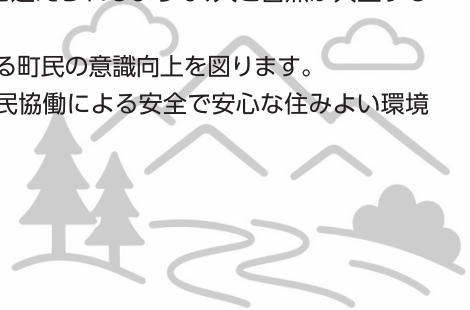
Numerical Targets

指標名	基準値 (R6年)	目標値 (R12年)	備考
社会移動(転入-転出)	65人	70人	住民基本台帳

## 郷土づくりの方向性

Direction for Community Development

- 緑豊かな自然と美しい景観を生かし、誇りをもって住み、来訪者を迎えられるような、人と自然が共生する夢と希望のある環境づくりを目指します。
- 地球温暖化対策に伴う循環型社会への転換を推進し、環境に対する町民の意識向上を図ります。
- 自然災害や犯罪などの社会不安から町民の生命・財産を守り、町民協働による安全で安心な住みよい環境の構築を目指します。



## 基本施策

Basic Policies

### 1. うるおいと安らぎのある誰もが住みたくなる郷土をつくる

- 豊かな自然と調和した適正な土地利用を進め、町民や移住希望者が快適に暮らせる住環境や地域基盤の整備に努めます。
- 災害に強い公共土木施設の整備や長寿命化を進めるとともに、町民の足となる地域公共交通網の維持・確保に努めます。

### 2. 自然と人が調和する持続可能な郷土をつくる

- ユネスコエコパーク※の理念に基づき、豊かな生態系や景観を保全・活用し、多様な主体と連携して持続可能な国際貢献できる郷土を目指します。
- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)※の推進や新エネルギー※の導入、不法投棄の監視体制強化などを通じ、自然と共生する循環型社会の構築を進めます。

### 3. 人とのつながりで希望ある安心な郷土をつくる

- 交通事故や犯罪、消費者トラブルを未然に防ぐ啓発活動を継続し、人のつながりを大切にした安心な生活環境づくりを推進します。

### 4. 守りあい・支えあいによる安全な郷土をつくる

- あらゆる災害からすべての人の生命と財産を守るため、町民と行政が一丸となって対応できる防災体制の充実・強化を進めます。
- 避難行動要支援者の安全確保や避難体制の見直しを行うとともに、他自治体や民間企業との広域的な相互応援体制の強化を図ります。
- 災害時に正確な情報を迅速に共有するため、情報伝達手段の多様化・多重化を図ります。

※ユネスコエコパーク…ユネスコ(国連教育科学文化機関)が行う「人間と生物圏(MAB:Man and the Biosphere)計画」の一事業で、「生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)」を目的としている。

※3R(リデュース[減量]、リユース[再利用]、リサイクル[再資源化])…環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための取り組みのこと。3R運動という。  
 ※新エネルギー…「新エネルギーの利用等の促進に関する特別措置法」において「新エネルギー利用等」として定義されたエネルギーのこと。太陽光発電や熱利用など技術的には実用段階まで達しているが、経済性の面から普及が十分でないもので、石油に代わるエネルギーのために特に必要なもの。

協働・行財政・人権

みんなが活躍する、絆の力で地域が活きる郷土

## 数値目標

Numerical Targets

指標名	基準値 (R6年)	目標値 (R12年)	備考
山ノ内町に住み続けたい人の割合	64.0%	70.0%	まちづくりアンケート調査

## 郷土づくりの方向性

Direction for Community Development

- 町民と行政が一体となって「夢と希望のある健康な郷土」を創り上げるため、協働の郷土づくりを進めるとともに、町民が主体的に参加できる仕組みづくりを推進します。
- 人口減少などに伴う厳しい財政状況に対応するため、社会システムの効率化や公共施設の長期的視野に立った再編を進め、健全な財政運営に努めます。
- 積極的な情報公開による開かれた行政運営に努めるとともに、行政サービスの向上や行政改革、広域的な連携を図り、持続可能な行政運営を目指します。

## 基本施策

Basic Policies

## 1. みんなが活躍する協働の郷土づくり

- 町民一人ひとりがお互いの役割を理解し、力を合わせて地域課題の解決に取り組める体制を構築するとともに、主体的な活動への支援を継続します。

## 2. 健全な財政運営と確実な行政経営の郷土づくり

- ICT※等を活用した Society5.0※社会の実現に向けた研究を進め、町民の利便性向上と簡素で効率的な行政経営に努めます。
- 社会情勢の変化や多様化する町民ニーズに対応し、より効果的な行政組織や機構のあり方を検討・運営します。
- ICT※やAI※などの先端技術を活用した業務の効率化、公共施設の最適化、自主財源の確保などを通じて、持続可能な行財政運営を進めます。

## 3. 人と人が尊重し合う絆の郷土づくり

- 「人権の視点」に立った教育や啓発活動を通じて偏見や差別の解消を進めるとともに、人権を擁護する相談・支援体制の充実を図ります。
- あらゆる場における人権施策や多様化する課題に対応した施策を推進し、互いの個性や価値観の違いを認め合える共生社会の実現を目指します。

※ICT…(Information and Communication Technology)情報通信技術のこと。

※Society5.0…内閣府が提唱している未来社会のコンセプトのこと。革新技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と同時に、様々な社会課題の解決を図り、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を享受できる未来社会のこと。

※AI…(Artificial Intelligence)人工知能のこと。人間の知的な活動(認識、判断、計画、学習など)をコンピューターで実現するための技術のこと。

# 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資料：国連広報センター

平成 25(2015)年 9月に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」において、持続可能な開発目標 (SDGs) は、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、17 の目標と、各目標を実現するための 169 のターゲット (達成基準) を掲げています。

経済・社会・環境をめぐる広範な課題を統合的に解決することを目指し、SDGs 達成に向けた取り組みが先進国・開発途上国を問わず始まっています。

日本国内の SDGs 達成に向けた取り組みとして、国が定めた「持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針」(2016 年)において、地方自治体の各種計画に SDGs の要素を最大限反映することを推奨しています。

本町でも町民への普及啓発や地域の課題解決を通じて取り組んできました。後期基本計画では、引き続き SDGs の目標達成に向けた取り組みを実践します。

## 山ノ内町の基本目標とSDGs

<p>基本目標 <b>1</b></p> <p>産業・交流・移住定住</p> <p><b>ひとがたなぐ、魅力あふれる産業と交流の郷土</b></p>	▶	
<p>基本目標 <b>2</b></p> <p>保健・医療・福祉</p> <p><b>いきいきと暮らす、元気が満ちる健康な郷土</b></p>	▶	
<p>基本目標 <b>3</b></p> <p>教育・文化・スポーツ</p> <p><b>未来に羽ばたく、豊かな文化と学びの郷土</b></p>	▶	
<p>基本目標 <b>4</b></p> <p>都市基盤・自然環境・生活環境・防災</p> <p><b>自然と生きる、暮らしの希望を叶える安全な郷土</b></p>	▶	
<p>基本目標 <b>5</b></p> <p>協働・行財政・人権</p> <p><b>みんなが活躍する、絆の力で地域が活きる郷土</b></p>	▶	



## 第6次山ノ内町総合計画後期基本計画概要版

発行 令和8年(2026年)3月

発行者 山ノ内町

〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3352-1

TEL : 0269-33-3111 FAX : 0269-33-4527

URL : <https://www.town.yamanouchi.nagano.jp>

編集 未来創造課

